



ジュリエット・ピノシュ
Juliette Binoche

映画祭団長のごあいさつ

「映画はパスポートなしで国境を越えて、外へと送り出されるために作られます。フランスはたくさんの映画が旅立つ出発地点であり、また、さまざまな外国の映画が迎え入れられる地でもあります。たとえばチェシロフスキ、ハネケ、ホウ・シャオシェン、諏訪敦彦、そしてフリアーズは、最近もフランスで映画を作りました。そう、フランスのために。しかしそれはフランスが常に生まれ変わり、互いの違いを認めながら開かれてありたいと望み、そして新しいものを求め続ける限りにおいてです。また、わたしたちが「uni=結びついて一つになるのは、フランスのためではなく、フランス映画の歴史が私たちに伝えてくれた「自由」と「必然性」の理念、その独立の息吹のおかげです。ルノワールやブレソン、ヴィゴ、トリュフォー、ゴダール、レネ、デュモンがもしいなかったら、映画芸術はどのようになっていたのでしょうか。また一方で、フランス映画は、他国の偉大なシネアストたち、偉大なまなざしの持ち主たちに触発されてきました。それはたとえば日本の黒澤、溝口、小津、北野、是枝、河瀬、宮崎、黒沢です。彼らが存在しない映画の世界が考えられるでしょうか。」

2009年3月に東京で開かれるフランス映画祭は単なる公式行事ではなく、私たちが心から望んだ出会いの場であり、その映画祭を代表することは私にとって本当に嬉しく、誇らしいことです。」

出身地:フランス/パリ

舞台監督の父と女優で舞台講師の母を持つ。幼い頃から演劇に親しみ、コンセルバトワールで演技を学び、12歳で舞台に立つ。以後、TVや舞台で活動を続け、1985年「ランデヴー」で初主演を経験しセザール賞の主演女優賞にノミネート。その後、様々な作品に出演。

JUBILATIONS ジュビレイションズ

今年の映画祭の団長であるジュリエット・ピノシュのマルチなタレントをご堪能下さい!

女優ジュリエット・ピノシュは、アーティストとしての様々な表現方法へ、果敢に、そして歓喜(jubilation)と共に、挑戦し続けてきました。英国人振付家でダンサーアクラム・カーンと共同演出・出演をつとめる舞台in-i(イン・アイ)。ゴダール、カラックス、ハネケ、アモス・ギタイ、ホウ・シャオシェン……、世界中の多くの才能溢れる映画作家たちの作品の中で新たな魅力、存在感をつねに見出してきたピノシュの女優としての軌跡を辿る映画特集。そしてピノシュ自身によって描かれた監督たちの肖像、彼らに宛てた詩、そして自分が演じた役の自画像を34組公開します(会場、開催期間についてはおてお知らせしますwww.institut.jp)。同時に、それら68点の肖像を集め、それぞれにピノシュ自身が詩を寄せている書物が出版されます。

※出版本は東京日仏学院の書店、文化村とユーロスペースにて発売されます。詳しくは: www.culturesfrance.com



ジュリエット・ピノシュ&アクラム・カーン in-i「イン・アイ」

会場:Bunkamuraシアター・コクーン
開催期間:3月9日(月)~15日(日)
問合せ先:サンライズプロモーション東京 TEL.0570-00-3337(全日10:00~19:00)



ジュリエット・ピノシュ レトロスペクティブ ~映画と共に旅をする女優~

3月7日(土)・8日(日)・14日(土) 東京日仏学院 TEL.03-5206-2500 www.institut.jp
3月14日(土) ~ 20日(金・祝) ユーロスペース TEL.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

フランス映画祭2009記念 東京日仏学院プレゼンツ「クロージング・ナイト・パーティー」

- 出演:Marc Collin「シネミックス」
- 日時:2009年3月15日(日) 22時~26時
- 会場:スーパー・デラックス(西麻布)www.super-deluxe.com
- 入場料:3000円(ドリンク別)東京日仏学院で好評発売中! TEL.03-5206-2500 www.institut.jp

開催概要

- [名称] フランス映画祭2009 / Festival du Film Français au Japon 2009
- [期間] 2009年3月12日(木)~3月15日(日)
- [会場] TOHOシネマズ 六本木ヒルズ
- [主催] ユニフランス
- [特別後援] フランス文化・コミュニケーション省-CNC / 在日フランス大使館 / ユビフランス / パリ市
- [後援] 東京日仏学院 / 東京国際映画祭実行委員会 / (社)日本映画製作者連盟 (社)外国映画輸入配給協会 / 全国興行生活衛生同業組合連合会 / (財)川喜多記念映画文化財団
- [インターナショナルスポンサー] SG信託銀行 / LVT
- [協賛] イオンマルシェ(カルフル) / TV5MONDE
- [協力] 六本木ヒルズ / TOHOシネマズ株式会社



フランス映画祭
2009 上映スケジュール

3.12[木] ▶ 3.15[日]
[会場] TOHOシネマズ 六本木ヒルズ
www.unifrance.jp/festival/

各映画祭上映終了後に来日ゲストによるトークショーを予定しております。
その他、華やかなレッドカーペット、サイン会、13日の金曜日には恐怖のホラーナイトも!
例年よりもさらに盛りだくさんのフランス映画祭2009、どうぞお楽しみに!

※上映スケジュールは変更になる場合もございます。最新情報はフランス映画祭ホームページをご覧ください。

12 JEU (木)
18:15 夏時間の庭 オープニング作品
(1時間42分) L'HEURE D'ETE
21:15 ジョニー・マッド・ドッグ
(1時間33分) JOHNNY MAD DOG

13 VEN (金)
13:15 美しい人
(1時間28分) LA BELLE PERSONNE
16:45 コード
(1時間40分) LE CODE A CHANGE
20:15 顧客
(1時間45分) CLIENTE

14 SAM (土)
10:30 短編映画(6作品)
(2時間) SEANCE COURTS METRAGES
13:15 サガン - 悲しみよ こんにちは -
(2時間2分) SAGAN
16:45 ミーシャ / ホロコーストと白い狼
(1時間59分) SURVIVRE AVEC LES LOUPS
20:30 シークレット・ディフェンス
(1時間40分) SECRET DEFENSE

15 DIM (日)
10:45 未来の食卓
(1時間52分) NOS ENFANTS NOUS ACCUSERONT
14:10 ベルサイユの子
(1時間53分) VERSAILLES
17:35 華麗なるアリバイ(仮題)
(1時間33分) LE GRAND ALIBI
20:40 西のエデン
(1時間50分) EDEN A L'OUEST

ホラーナイト 24:00~
マターズ(原題) (1時間40分)
MARTYRS
伯爵夫人 (未定)
LA COMTESSE
ミュータント (1時間25分)
MUTANTS
※この映画には暴力的な表現が含まれています。

映画祭ナイト 24:00~
コード (1時間40分)
LE CODE A CHANGE
顧客 (1時間45分)
CLIENTE
シークレット・ディフェンス (1時間40分)
SECRET DEFENSE

映画祭ナイト 24:00~
西のエデン (1時間50分)
EDEN A L'OUEST
ジョニー・マッド・ドッグ (1時間33分)
JOHNNY MAD DOG
美しい人 (1時間28分)
LA BELLE PERSONNE

[会場] TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

- 東京メトロ日比谷線 六本木駅 出口1C 徒歩3分
- 都営大江戸線 六本木駅 出口3 徒歩6分
- 麻布十番駅 出口7 徒歩8分
- 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 出口5 徒歩10分
- 東京メトロ南北線 麻布十番駅 出口4 徒歩11分



チケット

[料金] 入場料金1,500円(税込) [全席指定席]
オールナイト 3,500円(税込) [全席指定席]
※18歳未満の方は終映が23:00を過ぎる上映回には保護者同伴でもご入場いただけません。
[購入方法] 会場チケットカウンターまたはインターネットチケット“vit” (www.tohotheater.jp)にて好評発売中

お問い合わせハローダイヤル 050-5541-8600 2/14(土)~3/15(日) (8:00~22:00)



uniFrance présente

Festival du Film Français au Japon

フランス映画祭
2009 3.12[木] ▶ 3.15[日]

TOHO CINEMAS TOHOシネマズ 六本木ヒルズ
www.unifrance.jp/festival/



